

ツキノワグマの対策



和名	ツキノワグマ
分布	本州、四国
生息環境	山地の落葉樹林や里山
体長	成獣 110cm～150cm 程度
体重	50kg～120kg 程度

本州に生息するクマで、犬のゴールデンレトリバーほどの大きさです。個体差はありますが、平均体重は、50kg～80kg です。植物質を中心に食べる雑食で、とくに甘いもの(蜂蜜、スイカ、トウモロコシ等)を好んで食べます。

よく誤解されますが、夜行性ではありません。昼も夜も活動します。

クマを集落に近づけない環境づくり

- クマは本来、臆病な動物です。身を隠すことのできる藪や林を移動ルートとして使います。人家および農地の草刈りを徹底し見通しを確保し、クマの通りづらい環境を作りましょう。
- 生ごみや収穫残渣は適切に廃棄し、野外に放置しないようにしましょう。これらは人間にとってはゴミでも、クマにとっては美味しいエサとなります。
- スイカ、トウモロコシ、カボチャなどの甘い作物はクマの大好物です。人家周辺や人通りの多い道路近くでは作付けを避けるなどして、クマを寄せ付けない農地を作りましょう。
- 畑や畝を電気柵で囲うことにより、被害を効果的に防止することができます。
- 収穫していない柿や栗などの放任果樹は、クマを人里に誘引します。早めに実を落とすか、伐採を行い、適正に管理しましょう。
- 集落内にミツバチの巣を見つけたら、早めに取り除きましょう。巣の蜂蜜を求めてクマが出没する可能性があります。

遭遇を避けるために

- クマは本来、臆病な動物ですが、驚いて身を守ろうとする時や子グマを守るために襲ってくる場合があります。突然出会うことのないように、鈴、笛、花火、ラジオなどを鳴らし、人間の存在をクマに伝えましょう。
- 過去にクマが出没した場所には近づかないようにしましょう。
- クマは朝夕の薄暗い時間や、天気が悪い日は活動が活発になります。そういう状況の日は、一人での活動は極力避け、遭遇に十分注意してください。
- クマの糞や足跡などの痕跡を見つけたら、近くにクマがいる可能性があります。早めに引き返しましょう。
- 藪や林などの周囲が見渡せない場所には、立ち入らないようにしましょう。

もし遭遇してしまったら

- まず、落ち着きましょう。大声を出したり、急な動きをするとクマを刺激します。クマから目を離さず、ゆっくり静かに後ずさりして立ち去りましょう。
- 子グマを見つけても絶対に近づかないようにしましょう。近くに親グマが隠れている可能性があります。
- 万が一、至近距離で出会ってしまったら、襲われてしまうかもしれません。逃げ切れない場合は、両手を首の後ろで組み、正座の姿勢で状態を倒し、地面に伏せましょう。顔、頭、腹を守り致命傷を負わない努力をしてください。

お問い合わせ先	電話番号
喜多方市市民生活課有害鳥獣対策室	0241-24-5261
熱塩加納総合支所住民課市民サービス班	0241-36-2113
塩川総合支所住民課市民サービス班	0241-27-2123
山都総合支所住民課市民サービス班	0241-38-3825
高郷総合支所住民課市民サービス班	0241-44-2113